



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルリングクラブ合併)

2025年
4月号
(第22号)

今月のことば

「夢見ることすれば、それは実現できる」ウォルト・ディズニー (滝口選)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

2024~2025年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン(香港)「大きなインパクトを起こそう」
 国際会長 A.シャナヴァスカーン(インド)「より良い世界のために、共に」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ: W4W (Week for Waste : ゴミのための週) / RBM (Roll Back Malaria: マラリア撲滅運動)

4月例会プログラム

日時: 4月1日(火) 19:00~20:30

会場: ベルブ永山 3階講座室

(小田急線多摩線「永山駅」徒歩4分)

会費: なし (夕食はありません)

*オンライン (Zoom) でも参加できます。

司会: 深尾香子 受付: 伊藤江理夫

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
 - *ワイズソング
 - *今月のことば 滝口恵子
 - *ゲスト/ビジター紹介 会長
 - *会長挨拶
 - *今月のスピーチ
「ご家族の想いをつなぐ『笑顔相続』への架け橋として」 高橋まどかさん (上級相続診断士)
 - *チーム報告 (プランター野菜講座、農園、社協など)
 - *YMCA ニュース、各種アピール等
 - *スマイル
 - *今月のハッピーバースデー
 - *YMCA の歌
 - *閉会点鐘 会長
- (お願い) 5/17(土) 町田福祉バザーの献品にご協力をお願いします。

巻頭言 「現在のアメリカ」

アイオワ州では、氷点下 10~20 度の厳しい冬が続きましたが、最近では気温が 1~8℃まで上昇し、少しずつ春の訪れを感じられるようになりました。とはいえ、3月や4月には突然の降雪があることも珍しくありません。現在、私が教鞭をとっている Wartburg College (ワートバーグ大学) は冬学期の真っ只中であり、5月には卒業式を迎える予定です。私は「聖書と老子の道德経の比較」や「イスラムと現代」といった科目を担当しています。多くのアメリカ人学生はイエス・キリストへの信仰を持ち、それを公言することを躊躇しません。特に、エバンジェリカル (福音主義者) は若者の間で増加傾向にあります。もちろん、リベラルな主流派の若者たちも多く存在します。日本の報道では、多くの福音派がトランプ前大統領を支持しているとされていますが、実際にはトランプ氏に反対する福音派も存在します。また、リベラル主流派の中にもトランプ氏を支持する学生がいるなど、多様な政治的立場が見られます。アイオワ州を含む中西部は、政治的に拮抗しているため「スイングステート (激戦州)」と呼ばれ、アメリカの政治動向を左右する重要な地域とされています。現在のアメリカは分断が指摘されていますが、その歴史を振り返ると、連邦政府派と地方分権派、敬虔派と社会派のキリスト教徒、既成階級と移民成功者など、さまざまな対立や揺れ動きがアメリカの



4月の Happy Birthday

メネット藤田恵美さん(8日)

佐々木清勝さん(20日)

3 月 例 会	在籍15名 (内広義会員4名) 例会出席 18名	出 席 内 訳	メンバー 9名	BF切手 0g	オークション 0円
			メーキャップ 1名	(今年度累計 800g)	(今年度累計 7,400円)
			出席率 91%	ぼんぼこファンド 0円	スマイル 0円
			メネット 0名	(今年度累計 21,600円)	(今年度累計 55,335円)
			ゲスト・ビジター 9名		

ダイナミズムを生み出してきました。トランプ政権もその振り子の一つであり、メディアが報じるほど人々は悲観的ではありません。トランプ氏の大胆な荒療政策も、長い目で見ればアメリカの新陳代謝の一環と捉える人も多く、2年後の中間選挙で再びバランスが取られるのではないかと考えられています。このような状況の中、私たちワイズは、学生や若者たちに多様な視点を提供し、フェアな議論を促すことが求められています。異なる意見や信念を持つ人々との対話を通じて、相互理解を深めていくことが重要です。ワイズの皆様とも連携し、次世代を担う若者たちの育成に努めてまいりたいと考えております。(寺沢邦彦記)

3月例会報告

3月4日(火)19:00から、当クラブの3月例会がZoomにて開催されました。玉川学園コミュニティーセンターをメイン会場とするハイブリッド開催を予定していましたが、夕刻から大雪となる天気予報のため、前日に急遽、Zoomでの開催に変更することを決定しました。



会長挨拶、ワイズソング、今月の言葉、ゲスト/ビジター紹介の後のメインのプログラムは、東京町田コスモスクラブのメンバーで脳神経科学者の山口さんによる、「”こころ”と”脳”の健康のために」と題するスピーチでした。

「こころはどこにあると思うか」、「動物にこころがあるか」などの質問から始まり、まずは、実物のアジの脳を用いての脳の構成の説明、脳の働きは、微弱電流が流れる神経回路によって実現されていること、化学物質がこころに作用する仕組み等の生理学的な説明が行われました。続いて、認知症について、判定テストの紹介や、アルツハイマー症の病因と治療の現状と課題(治療薬は年間400万円)、中高年期に認知を刺激する活動を行うこと、運動すること、肥満にならないようにすることなどの認知症



の予防策、食事の注意(亜麻仁油、青魚等に含まれるオメガ3を摂ること、食べ過ぎないことなど)、認知症とストレスの関係についてのお話がありました。

最後に、右脳、左脳の役割の違いが説明され、共感、博愛を特徴に持つ右脳的なキャラクターに転換し、「こころの平安を持ち、ストレスを減らすことが、こころの座である脳の健康維持に、とても重要である」と締めくくられました。

第9期プランター野菜講座の予定の報告、宇都宮・東日本区大会への参加呼びかけ、アジア太平洋地域大会のアピール等の後、ハッピーバースデーを祝い、定刻に閉会となりました。

<出席者>石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、尾張、田中、為我井、深尾、綿引<ビジター>【東京】長澤、渡邊【東京町田コスモス】加藤、山口【東京八王子】久保田、小口、長谷川、山本<ゲスト>江守 合計18名

メーカー：峰(次期部準備会II出席)(田中記)

3月第2例会(運営会議)報告

3月10日(月)19:00から、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。

3月例会報告、会計報告、4月例会プログラム・ブリテン構成、5月例会プログラムの他に以下のことが報告、話し合われました。

- ぼんぼこ農園：農園主の農村伝道神学校に1万円を寄付する。宇都宮・東日本区大会で、収穫物を販売することを計画する。
- 4月例会開催方式：WIFIの不安はあるが、ベルブ永山をメイン会場としてハイブリッド開催とする。
- 4月第2例会開催日：規定の第2月曜日ではなくて、例会開催日翌週の月曜日(7日)に開催する。
- W4W：4月19日(土)に多摩センター駅周辺で開催する。

<出席者>石田、伊藤(幾)、田中、為我井、深尾、綿引 (田中記)

今月の強調テーマ「W4W」について

4月は、世界中のワイズメンズクラブにおいてW4W(Week for Waste)の活動が実施されます。

W4Wは、2021年に国際協会により提唱された、「身の回りのゴミ拾いを世界中のワイズ全員が一斉に行い、地球を綺麗にしよう」という活動です。

当クラブでは、4月19日に多摩センターにてこの活動を行います。下記の要領にて実施しますので、ぜひご参加ください。

日時 4月19日(土)集合10:00 活動は1時間以内

場所 多摩センター近辺
集合は京王多摩センター駅西改札前

用具 ごみ袋、トングはクラブで用意します。
軍手はご持参ください。

クラブメンバーは「クラブベスト」を着用してください。活動終了後、一緒に昼食を楽しみましょう。(綿引記)

4月例会 スピーチ

「ご家族の想いをつなぐ『笑顔相続』への架け橋として」

高橋 まどか さん



《プロフィール》

山形県米沢市生まれ。

終活・相続・FPセミナー講師、アドバイザーとして、多摩地域を中心に活動。

この4月で地元開催セミナーは108回を迎える。

家族は、長男37才、二男33才。趣味はゴスペル。

上級相続診断士、終活カウンセラー、ファイナンシャルプランナーAFP。

相続診断士事務所 with-U、合同会社 with-U 代表社員、東京多摩相続診断士会 会長

《スピーチ概要》

相続をきっかけに家族が“争族”になってしまう。

それは金額の大小とは関係ありません。

当事者の気持ちが食い違えば、家族の間にき裂を生んでしまうこともあります。

“争族”を防ぐためには、どの様な想いを持っていたのかを共有することが大切です。

相続診断士の志は、“争う相続”を減らし“笑顔相続”を普及させ「想いを残す文化を作る」ことです。

終活や相続対策を始めるときには、まず何から始めればいいのか「終活・相続ははじめの一步」のお話をしたいと思います。

次期クラブ会長・部役員研修会報告

3月8～9日、御殿場「東山荘」にて、東日本区による「次期クラブ会長・部役員研修会」が開催されました。当クラブからは、綿引、為我井の2名とLT委員として参加の石田、深尾、合計4名の出席でした。当日は生憎の降雪でしたが、寒い中であっても熱い議論が交わされました。2025-2026年度を担う山下真次期理事および次期事業主任から年度方針説明があり、2日間に亘って部単位でのディスカッションが行われ、現状認識、そして今後の方針が議論されました。

当クラブが所属する東新部では、クラブの活動目的や東京YMCAとの連携の希薄化等を課題として認識し、高齢化が進む中であっても、各クラブが協力してしっかりとした活動を行っていくことが再確認されました。その中で、東新部は常日頃から機会を設け、議論を行っていることから、今井部長、深尾次期部長のリーダーシップのもとで、クラブ間の意思統一が図りやすい印象をもちました。一層のクラブや部の活動の活性化が期待されます。(綿引記)

第9期プランター野菜講座開講のお知らせ

春の訪れに合わせ、5月13日(火)から第9期プランター野菜講座が開講されます。日増しに温かくなってきており、花や野菜が目を楽しませてくれる季節の到来です。気分は否が応でも盛り上がりますね。本講座は、従来同様Zoomを活用したオンラインチャリティー講座として開催します。今回は、各回ごとテーマ野菜を自分で選択できます。前回失敗したので再チャレンジ、初めての栽培にチャレンジなど選択肢を用意しました。また、講座運営は、すべてクラブ関係者によるボランティアです。参加費の一部を貯めて、地域で地道に慈善事業に取り組む実績を上げている、子ども食堂やパントリーサービスを提供している「ほくの家」、高卒資格認定試験受験者向け無料塾の「慈有塾」などに寄付をしてきました。当クラブは、ボランティア団体として、地域貢献事業に取り組むため、主体的にイベントを立ち上げ、活動資金を自ら生み出すことで、ファンド作りに取り組んでいます。野菜作りを楽しみながら、コミュニケーションの輪を広げ、新しい仲間と共に、地域でのコミュニティ活動の幅を広げて参りたいと考えています。ご賛同いただけるみなさまのご参加を心待ちにしております。

公開オンライン・チャリティー講座
第9期
プランター野菜講座

ベランダや庭先のプランターで野菜を育てて、収穫の喜びを味わってみませんか？
野菜栽培の達人の講師がZoomを通して、初心者の方を志向した、丁寧に解説いたします。個別のアドバイスも行います。どなたでもご参加いただけます。今回は、ミニキュウリ、中長ナス、ゴーヤ、安心野菜を栽培予定です。

講師 藤田 智
農産大学園芸学部
NHK「園芸の達人やいばり講師」、「チコちゃんに叱られる!」等に出演、著書多数。
東京多摩スマイルフェスタ実行委員

受講料(全5回分)
3,000円(受講料に当惑する方)の代金は2,000円(補助のみは2,000円)

本講座はオンライン講座です。受講は、地域のボランティア団体に寄付させていただきます。

お申し込み/お問い合わせ
以下のQRコード
がご登録ください

お申し込み/お問い合わせ
https://www.facebook.com/emc2025
(お申し込みは先着順です。お早めにお申し込みください。)

主催 一般社団法人 フェスタメンタリティ国際福祉推進日本支部
東京多摩スマイルフェスタ実行委員会
(東京都社会福祉協議会 多摩ボランティア会 生活協同組合 多摩地区) フェスタメンタリティ
講師事務局 電話 田中0369823-0287

「ほくの家」、高卒資格認定試験受験者向け無料塾の「慈有塾」などに寄付をしてきました。当クラブは、ボランティア団体として、地域貢献事業に取り組むため、主体的にイベントを立ち上げ、活動資金を自ら生み出すことで、ファンド作りに取り組んでいます。野菜作りを楽しみながら、コミュニケーションの輪を広げ、新しい仲間と共に、地域でのコミュニティ活動の幅を広げて参りたいと考えています。ご賛同いただけるみなさまのご参加を心待ちにしております。

(石田記)

東新部 EMC セミナー報告

3/1(土)13:30~16:00、東京YMCA 東陽町センターでEMCセミナーが開催されました。ハイブリッド方式で行い、出席は28名(内オンライン出席9名)でした。今回のセミナーでは、在京12クラブの連携をもっと強化して、東京YMCAを支援して行きましょう、という呼びかけを主要なテーマにしました。発題には、在京12クラブが所属する3つの部から、それぞれ一人ずつにプレゼンをいただきました。関東東部からは金丸満雄さん(東京ひがし)、あずさ部からは山口直樹さん(東京武蔵野多摩)、そして東新部からは石田孝次さん(東京多摩スマイル)から、各部の現状や所属クラブの活動などを発表していただきました。当クラブからの出席は5名(石田、為我井、深尾、綿引、伊藤)でした。(伊藤幾記)



左写真は、次期クラブ会長・部役員研修会での山下次期理事の挨拶です。

ぼんぽこ農園便り

今月も慌ただしい日々が続く、ぼんぽこ農園に行けていませんでしたが、ぽかぽか陽気に誘われ久しぶりに行ってきました。農園内の駐車場にたどり着くと、裏手の高台からガビチョウのけたたましい鳴き声が耳に飛び込んできました。季節は確実に前進していると実感できました。ぼんぽこ農園に入るとニンニクが、逞しく伸び伸びと育っている様子を確認することができました。茎もひと回り太くなっていました。黒のシートに包まれた、隣の玉ねぎも茎がピンと立ち、緑色が鮮やかでした。根の部分の状況は確認できませんでしたが、きっと球は地下で大きく育っていると思いました。畑の様子は、毎度申し上げていることですが、佐々木清勝さんの手厚いメンテナンスのおかげで、きれいに整備されていることは言うまでもないことですが、畑の土



の状態、シート内の雑草の手入れ、畑の周囲の雑草の駆除など、周辺の畑と見比べても、明らかに行き届いた整備ができていました。農伝神学校の畑の中で際立った畑になっていました。(石田記)

第3回評議会&次期クラブ役員研修会の案内

7月からの新年度に向けて、東新部の準備も着々と進んでいきます。新年度は、当クラブの深尾さんの2回目の部長体制となります。深尾部長を支えるキャビネットに当クラブから6名(伊藤幾部書記、石田部会計、峰地域奉仕Yサ事業主査、綿引会員増強事業主査、為我井国際・交流事業主査、小野担当主事)が参加しています。

次期に向けての役員準備会Ⅰ、準備会Ⅱも終了し、下記のとおり、第3回評議会&次期クラブ役員研修会が開催されます。当クラブの現、新3役が出席義務者となります。

当クラブの出席義務者9名：深尾、石田、伊藤幾、伊藤江、小野、田中、為我井、峰、綿引

日時 4月26日(土)13:30~16:30

場所 東京YMCA 東陽町センター(ハイブリッド)

今後の予定

- 4/1(火)19:00~ 4月例会 ベルブ永山
- 4/7(月)19:00~ 4月第2例会 Zoom
- 4/9(水)19:00~ 東新部会長会 Zoom
- 4/10(木)19:00~ Y友広場 Zoom
- 4/19(土)10:0~ W4W 多摩センター
- 4/21(月)19:00~ 第3回東新部役員会 Zoom
- 4/26(土)13:30~ 評議会&次期クラブ役員研修会
- 5/6(火)19:00~ 5月例会 玉川学園コミセン
- 5/12(月)19:00~ 5月第2例会 Zoom
- 5/13(火)19:00~ 第9期プランター野菜講座①

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。
○2月26日、いじめのない世界をめざす「YMCA ピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施されました。
○愛恵福祉支援財団との共催で「戦後80年になるんだって!!」をテーマに実施した「第26回愛恵エッセイ賞」の表彰式が、3月8日、北とぴあ研修室およびオンラインで開催されました。一般の部、専門職の部、学生の部、外国籍の部の4部門、合わせて209人から作品の応募があり、20人が表彰を受けました。

○11月に雨天で延期した国際協力一斉街頭募金を、3月22日、新宿駅周辺で実施しました。会員、ユースボランティア、学生、メンバー、職員などが街頭に立ち、バングラデシュの子どもたちへの支援を呼びかけ、124,971円が寄せられました。ご協力に感謝いたします。

○外国にルーツのある子どもたちを支援する東京YMCAの取り組みが、2月27日の朝日新聞デジタル版および3月19日の朝日新聞朝刊紙面で紹介されました。外国にルーツのある子どもたちの支援活動(山中湖サマーキャンプ、にほんごサポートプログラム等)のためのクラウドファンディングは、250万円を目標に4月18日まで実施しています。

○「2023年度日本YMCAユースボランティア認証」として、全国17のYMCAで活躍するユースボランティア201人が認証を受けました。東京YMCAからも野外教育活動をはじめ各方面で活躍しているユースボランティア27人が認証されました。

○今後の主な行事予定

- ・「総主事就退任式」3月29日
会場：日本基督教団霊南坂教会
司式：古賀博牧師(評議員会会長/日本基督教団早稲田教会)
奏楽/演奏：飯靖子氏(理事/日本基督教団霊南坂教会オルガニスト)
- ・「職員就業礼拝」4月1日(オンライン)
説教：古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
- ・「第34回チャリティーゴルフ大会」4月10日
PGM 総成ゴルフクラブ
- ・「第22回会員大会」5月24日 山手センター

編集後記 4月に入りました。桜は満開となっています。街では、フレッシュメン・ウィメンの新鮮な姿が目に入ります。我々にもそんな時期があったなあと懐古しています。歳を重ねてきてわかることは、年代に応じて楽しいことがあるということです。ワイズでは、6月7日(土)に宇都宮で開催される第28回東日本区大会の申し込みが始まっています。みんなで宇都宮に出かけましょう。ワイズの楽しさを実感するのは、東日本区大会ならではの(i.i)